

### 第3章 広域的な道路交通の基本方針

佐賀県における広域的な交通の取組みに対応した広域的な道路交通の基本方針を以下のとおりとする。

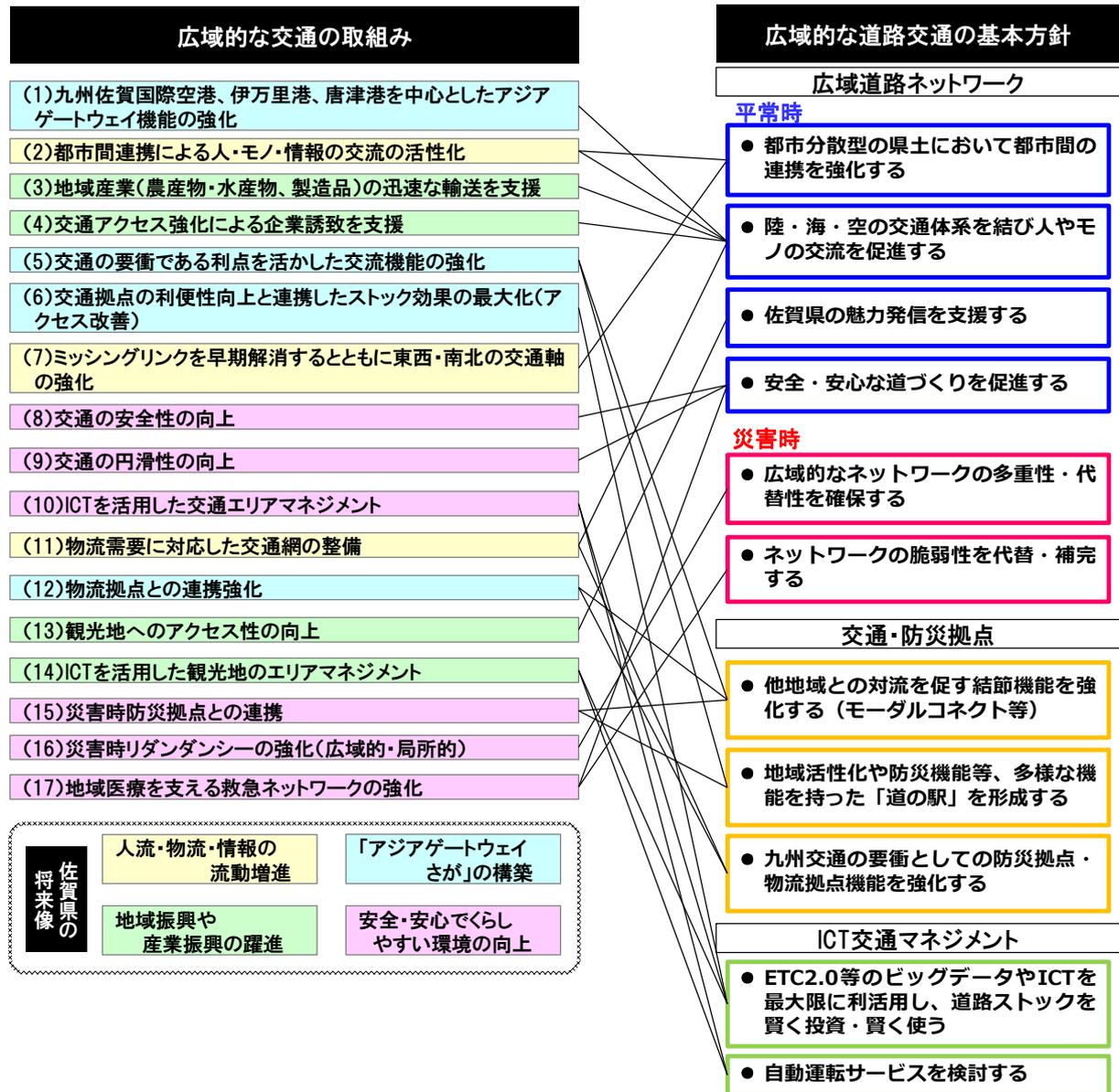


図 1-65 広域的な道路交通の基本方針

### 3.1 広域道路ネットワーク

平常時には人・モノの流れの向上により地域資源を活かした産業の立地や活発な経済活動を促進し、災害時には避難や救急救援物資の輸送など「命をつなぐ道」の役割を発揮するため、南北、東西軸の強化や地域間のアクセス強化を図ることで、平常時・災害時を問わない信頼性の高い安定的な道路ネットワークを確保する。

#### (1) 平常時のネットワーク

- 都市分散型の県土において都市間の連携を強化する
  - ①県内都市や県内都市や県外都市等を結ぶ走行性の高い広域幹線道路ネットワークの整備（東西軸、南北軸を形成する広域幹線道路）
  - ②広域幹線道路ネットワークを補完し、県内外の都市を結ぶ幹線道路の整備（直轄国道、補助国道などの幹線道路）
- 陸・海・空の交通体系を結び人やモノの交流を促進する
  - ③空港・港湾等のゲートウェイ機能を支援する道路整備（九州佐賀国際空港、唐津港、伊万里港、主要鉄道駅等へのアクセス道路）
  - ④企業立地や農水産業を支える道路整備（主要な工業団地、市場等へのアクセス道路）
- 佐賀県の魅力発信を支援する
  - ⑤広域観光ネットワークを形成する道路整備（主要な観光地へのアクセス道路）
- 安全・安心な道づくりを促進する
  - ⑥都市内交通の円滑化を支援する道路整備（都市内幹線、都市環状線）
  - ⑦地域医療を支える道路整備（救急ネットワークの強化）

#### (2) 災害時のネットワーク

- 広域的なネットワークの多重性・代替性を確保する
  - ⑧災害に強い信頼性の高い道路整備（広域的な緊急輸送道路網の強化）
- ネットワークの脆弱性を代替・補完する
  - ⑨安定的なネットワークを確保する道路整備（脆弱区間の補完）
  - ⑩災害時の避難や救急救援物資の輸送を支援する道路整備（防災拠点からの輸送道路、救急ネットワークの強化）

### 3.2 交通・防災拠点

他地域との対流を促す広域交通拠点の交通結節機能の強化を進めるほか、道路ネットワークとの連携強化を図ることで地域活性化や防災機能等、多様な機能を持った「道の駅」の形成を促進する。また、九州の交通の要衝における防災拠点・物流拠点機能の強化を図っていく。

- 他地域との対流を促す結節機能を強化する（モーダルコネクト等）
- 地域活性化や防災機能等、多様な機能を持った「道の駅」を形成する
- 九州交通の要衝としての防災拠点・物流拠点機能を強化する

### 3.3 ICT交通マネジメント

ETC2.0等のビッグデータやICTを最大限に利活用し、道路ストックを賢く投資、賢く使うとともに、自動運転技術の社会実験等の動向を踏まえつつ、各種交通課題の解決に大きな効果が期待される自動運転の実現に向け検討する。

- ETC2.0等のビッグデータやICTを最大限に利活用し、道路ストックを賢く投資・賢く使う
- 自動運転サービスを検討する

## ■ 広域的な道路交通の基本方針（まとめ）

### 広域道路ネットワークの基本方針

● 平常時には人・モノの流れの向上により地域資源を活かした産業の立地や活発な経済活動を促進し、災害時には避難や救急救援物資の輸送など「命をつなぐ道」の役割を発揮するため、南北、東西軸の強化や地域間のアクセス強化を図ることで、平常時・災害時を問わない信頼性の高い安定的な道路ネットワークを確保する。

平常時

- 都市分散型の県土において都市間の連携を強化する
  - ① 県内都市や県外都市等を結ぶ走行性の高い広域幹線道路ネットワークの整備（東西軸、南北軸を形成する広域幹線道路）
  - ② 広域幹線道路ネットワークを補完し、県内外の都市を結ぶ幹線道路の整備
- 陸・海・空の交通体系を結び人やモノの交流を促進する
  - ③ 空港・港湾等のゲートウェイ機能を支援する道路整備（九州佐賀国際空港、唐津港、伊万里港、主要鉄道駅等へのアクセス道路）
  - ④ 企業立地や農水産業を支える道路整備（主要な工業団地、市場等へのアクセス道路）
- 佐賀県の魅力発信を支援する
  - ⑤ 広域観光ネットワークを形成する道路整備（主要な観光地へのアクセス道路）
- 安全・安心な道づくりを促進する
  - ⑥ 都市内交通の円滑化を支援する道路整備（都市内幹線、都市環状線）
  - ⑦ 地域医療を支える道路整備（救急ネットワークの強化）

災害時

- 広域的なネットワークの多重性・代替性を確保する
  - ⑧ 災害に強い信頼性の高い道路整備（広域的な緊急輸送道路網の強化）
- ネットワークの脆弱性を代替・補完する
  - ⑨ 安定的なネットワークを確保する道路整備（脆弱区間の補完）
  - ⑩ 災害時の避難や救急救援物資の輸送を支援する道路整備（防災拠点からの輸送道路、救急ネットワークの強化）

### 交通・防災拠点の基本方針

- 他地域との対流を促す結節機能を強化する（モーダルコネクト等）
- 地域活性化や防災機能等、多様な機能を持った「道の駅」を形成する
- 九州交通の要衝としての防災拠点・物流拠点機能を強化する

### ICT交通マネジメントの基本方針

- ETC2.0等のビッグデータやICTを最大限に利活用し、道路ストックを賢く投資・賢く使う
- 自動運転サービスを検討する

図 1-66 広域的な道路交通の基本方針（まとめ）